

●● ごあいさつ ●●

奈良県東京事務所長 永井 聡さん

今年4月から奈良県東京事務所長を務めております、永井でございます。
この2年半の間、世の中は新型コロナウイルス感染症に翻弄されてきましたが、最近になって、社会経済活動も徐々に動きを取り戻しつつあります。

昨年8月に新橋でリニューアルオープンした、奈良県のブランドショップである奈良まほろば館も、日増しに、奈良県の産品を求めているお客様の賑わいが見られるようになってきました。さらに、観光案内のコーナーでは、東京奈良県人会からご寄贈いただいたソファベンチに腰掛け、モニターに映る奈良の風物を楽しんでおられる方々をよく目にしております。

さて、去る6月25日には、東京奈良県人会の総会が、3年ぶりに、皆さんが実際にお集まりいただける形で開催されました。まだまだ感染に気をつけながらではありますが、久しぶりにお会いされた会員の方々はもちろん、PRのために奈良から駆けつけた自治体等の関係者や、ご招待いただいた奈良県養徳学舎の学生などが楽しく談笑する姿を見ることができました。私自身にとりましても、これまで長く継続されてきた貴会の活動・交流の歴史を実感する機会となりました。

なお、すでにご承知かと存じますが、各地の奈良県人会の皆様が参集する全国大会を、来年3月5日に奈良県コンベンションセンターで開催いたします。当センターは、一昨年にオープンした奈良県最大の会議場・観光交流拠点です。各地の県人会を代表する東京奈良県人会の皆様が、一人でも多くふるさと奈良にお集まりいただき、全国の奈良ゆかりの方々との親交を深めてくださることを願っています。



永井 聡 所長

●● 会員特典 ●●

●令和4年度会費を納入いただいた方に会員証を発行します。 ●年会費を指定口座にお振込みください。入金確認後に会員証を送付します。

会員特典

- 奈良まほろば館1階ショップ商品5%割引
- 奈良まほろば館2階レストラン「TOKI」ディナー6人以下で1人1杯のウェルカムドリンクサービス
- 奈良の料理が楽しめる居酒屋「あをによし」(東京都中央区日本橋室町1丁目12)ウェルカムドリンク1人1杯サービス
- 奈良まほろば館イベントルームAが利用できます。(コワーキングスペースとしての利用やイベント会場としての利用)



○利用可能場所 奈良まほろば館2階イベントルームA
○利用可能時間 コワーキングスペース：平日のみ11時00分～18時00分、予約不可。
当日、職員に会員証をご提示ください。
イベント利用：平日・土日祝日11時00分～19時00分
利用日の1カ月前までに予約してください。
○Free Wi-Fiを無料でご利用いただけます。必要な場合は、利用当日に職員までお声がけください。
※休館日や講座等による利用時にはご利用いただけません。
緊急事態宣言発令等により利用を停止する場合があります。また、利用承認を取り消す場合があります。
空き状況などのお問い合わせは同館03-5568-7081へ。

●● 今後の予定 ●●

■文化交流会のお知らせ「講演：狂言師 大蔵基誠師」

- 日時：10月17日(月) 18時30分より
- 場所：【第1部】講演 奈良まほろば館2階(新橋) オンラインとのハイブリット開催 定員50名
【第2部】交流会 ワインホールグラマー新橋
- 会費：5000円(第一部のみの方は500円、第二部のみの方は4500円)
◀*詳細お申し込みは、同封の資料をお読みください。▶

●● 会費納入のお願い ●●

年会費未納の方には振込用紙を同封していますので、お振り込みをお願いします。

【振込先】

ゆうちょ銀行 郵便局用振替用紙(口座番号等:00170-2-323480)
※他金融機関からの振込の場合は〇一九(ゼロイチキュー)店 (当)0323480
南都銀行 東京営業部(普)2002626 一般社団法人東京奈良県人会

【年会費】

一般会員：3千円
参与会員：1万円
賛助会員：1口2万円×2口以上

— お詫びと訂正 —

先般お送りしました総会報告書の中で令和4年度予算書の数値に誤記がありましたので、お詫びし訂正いたします。

正誤表

科目(令和4年度予算)	正	誤
前期繰越金	1,504,892	1,117,316
収入の部合計	4,260,897	3,873,321
次年度への繰越金	1,171,897	784,321
支出の部合計	4,260,897	3,873,321

郷土を語り

人々の輪が広がる

東京奈良県人会レター

編集発行所：一般社団法人 東京奈良県人会 発行人：松本 俊洋 (2022年秋号)

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-3 奈良県東京事務所内 電話 03-5210-2838

奈良県人会ホームページ
https://tkynarakenjinkai.jimdofree.com/



●● 令和4年度(第8回) 定時社員総会 ●●

3年ぶりにリアル開催

東京奈良県人会(松本俊洋会長)の令和4年度定時社員総会が令和4年6月25日、東京都千代田区の学士会館で開かれた。新型コロナウイルス感染減少を受けて3年ぶりのリアル開催となった。総会に続いて奈良市の喜光寺住職であり薬師寺長老の山田法胤師が講演。その後、懇親会が開かれた。オンラインを含めて約90人が参加した。

冒頭、松本会長はあいさつの中で「3年ぶりに会員の皆さんとお会いできてうれしく思う。コロナ禍で不安な時期を過ごしてきたが、山田長老のお話を聞いて心を癒してもらいたい」と述べた。

総会は同3年度事業・会計報告と同4年度事業計画、理事・監事の選任など諮られ、賛成多数で承認された。続いて、永井聡奈



開会のあいさつをする松本会長

良県東京事務所長が荒井正吾奈良県知事からの祝辞を代読し、奈良県から県人会へ活動支援金が贈呈された。また、県人会から県人会若手の会へ助成金が贈呈された。

山田師は「心の持ち方」と題し講演。地球温暖化や新型コロナウイルス感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻など不安定な世界情勢に触れ、聖徳太子の言葉「和を以て貴しとなす」や日本中の人々が少しずつ協力し東大寺の大仏を造立したことに触れ、「奈良の歴史を学べば何をすべきか見えてくるのでは」と説いた。

永井所長の乾杯音頭で始まった懇親会は奈良の地酒を味わいながら会員らは久しぶりの再会を喜び、古里の話に花を咲かせた。途中、桜井市や奈良マラソン実行委員会の担当者、奈良県学生寮「養徳学舎」の学生が登場し、それぞれのPRを行った。



「心の持ち方」と題し講演した山田法胤薬師寺長老



3年ぶりのリアル開催となった総会

締めには恒例の「奈良県民の歌」を齊藤宗孝理事の音頭でマスクを着けたまま全員で唱和した。

最後に中村陽子副会長があいさつに立ち、「奈良県人会の皆さんと共に奈良県を、そして日本を豊かにしていきたいと思う」と語った。

参加した十津川村出身で神奈川県在住の会社員、玉置正文さんは「初対面の方でも懐かしさを感じる県人会。今年のリアルイベントが楽しみ」と笑顔で話した。

●● 令和3年度文化交流会 ●●

藪内館長が講演

令和3年度文化交流会が令和3年11月7日、東京都港区新橋の奈良まほろば館で開かれた。彫刻家で東京藝術大学名誉教授の藪内佐斗司さんが「南都の鬼才・森川杜園」と題して講演した。新型コロナウイルス感染拡大のためオンライン形式で実施した。

奈良県立美術館館長を務める藪内さんは奈良県のマスコットキャラクター「せんとくん」の生みの親でもある。藪内さんは講演で、幕末から明治にかけて奈良人形(一刀彫)を手がけた奈良の彫工、森川杜園(1820—1894)の生涯と奈良の伝統工芸「一刀彫」について考察した。

講演終了後、藪内さんの著書が当たる抽選会が行われた。



森川杜園について講演する藪内館長

●● 第35回若手の会 ●●

ふるさとの味に舌鼓

第35回若手の会が令和3年11月26日、東京都港区新橋の奈良まほろば館で開かれた。同年8月にリニューアルオープンした同館の紹介と1階ショップの人気商品試食会が行われた。コロナ禍の影響もあり参加は30人に限定し、参加できなかった人はオンライン中継を視聴した。

第1部は古川義富美同館長が館内を紹介。続いて県人会理事で1階ショップを運営する別所史さんがテレビ番組で紹介されたショップ内の映像を放映しながら自慢の奈良県産商品をPRした。

第2部では、ショップ内にあるカフェ&バーに場所を移し、奈良県産の伝統野菜「大和まな」のおひたしや奈良県で人気の「焼きそば」、リピーターナンバー1の「田舎あげ」などの試食会を開催。明日香村産の新ブランド米「あかねさす」で作ったおにぎりは好評で「早速注文する」という声も上がっていた。この日、農林水産大臣に五條市産の柿をPRした同市柿振興室の北川慶弥さんも飛び入り参加し、旬を迎えた柿をアピールした。

一方、オンライン参加者にはショップ店長の花岡美喜子さんが店内の商品を紹介するリアル中継を実施。視聴者が食べてみたい食材を選び、それを会場参加者が試食しコメントするという企画はおおいに盛り上がった。

会場で大和マナを試食した宇陀市出身の会社員、菅生圭彦さんは「昔食べたおふくろの味のようなしみじみとした美味しさがある」と懐かしそうに話した。



ショップの商品を紹介する花岡店長(左)



ふるさとの味に舌鼓

●● 令和3年度ふるさと奈良の集い ●●

荒井知事が県政報告

首都圏在住の奈良県出身者やゆかりの人たちが集う令和3年度「ふるさと奈良の集い」(奈良県、東京奈良県人会共催)が令和4年1月8日、東京都港区新橋の奈良まほろば館で開かれた。荒井正吾知事が出席し奈良県の取り組みについて講演した。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止したため約2年ぶりの開催となった。今回はオンライン形式で実施しアーカイブも含め225人が視聴した。県人会役員は会場で聴講した。

冒頭、荒井知事は「日頃のふるさと奈良への支援に感謝する。奈良を良くしたいという思いで取り組む県政の諸課題を紹介する」とあいさつ。続いての講演では、リニア中央新幹線や大規模広域防災拠点の整備、大和平野中央田園都市構想など県が進める事業について説明した。

その後、五條市出身でプロ野球読売ジャイアンツの岡本和真選手から届いたビデオレターの披露や、同館ショップとレストランが紹介された。さらに県特産品が当たる抽選会が行われた。

最後に裕本俊洋東京奈良県人会会長は「知事の講演を聞き、ふるさとの大きな発展ぶりを心強く感じた。日本をリードするような奈良になってもらいたい。私たちも応援します」と締めくくった。



県政について講演する荒井知事



2年ぶりに開かれたふるさと奈良の集い

●● 第36回若手の会 ●●

奈良産クラフトビール飲み比べ

第36回若手の会が令和4年7月15日、東京都港区新橋の奈良まほろば館で開かれた。今回は奈良のクラフトビールがテーマ。県内でも増えてきたクラフトビールの醸造所から「長龍酒造」のクラフトビールチームヘッドブルワーの樋代卓矢さんとチームメンバーの川村真以さんを招き、ビールの製法から特徴、ビール造りにかける思いを語ってもらった。

同社は本社を北葛城郡広陵町に置く酒造会社。数々の名酒を生産してきたが令和2年からクラフトビール事業を始め、「もう1度飲みたいビール」をテーマに、麴や米を使った新しいビール作りに挑戦している。

その後の懇親会ではクラフトビールと広陵町産の焼きナスや野菜で作ったサラダなどを味わいながら会員同士の交流を深めた。

奈良ファンで神奈川県から参加した植田かおるさんは「次に奈良へ行ったときには長龍酒造さんで作りたてのビールを飲みたい」と笑顔で話した。



クラフトビールについて語る長龍酒造の樋代さんと川村さん



広陵町産の野菜をつまみにクラフトビールを楽しむ会員ら